

【様式1-1】

# 小竹町 長寿命化修繕計画

平成26年1月

小竹町役場 建設課

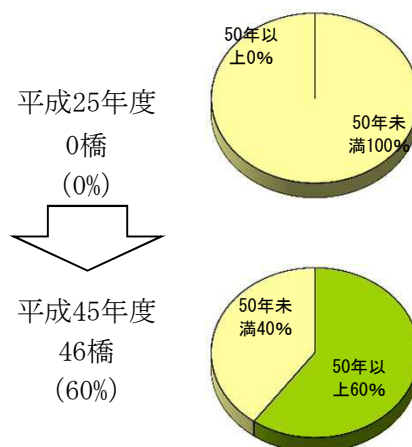
## 1. 長寿命化修繕計画の目的

### 1) 背景

本町が管理する橋梁は、平成25年度現在で77橋架設されている。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の0%を占めており、20年後の平成45年には、60%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の事後保全型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念される。



平成25年度  
0橋  
(0%)

平成45年度  
46橋  
(60%)

### 2) 目的

このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト削減のためには、従来の事後保全型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う” 予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで本町では、将来的な財政負担の低減および道路交通安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。

## 2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一般国道	主要地方道	町道	合計
全管理橋梁数	0	0	77	77
うち計画の対象橋梁数	0	0	77	77
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うちH25年度計画策定橋梁数	0	0	77	77

長寿命化修繕計画の対象：

- ・ 緊急輸送路に位置する橋梁
- ・ 桁下に道路がある橋梁
- ・ バス路線に位置する橋梁
- ・ 市町村間を結ぶ路線に位置する橋梁
- ・ 国道、主要地方道へのアクセス路線に位置する橋梁
- ・ 近隣に重要な施設がある橋梁
- ・ 無くすと迂回ができない橋梁

### 3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

#### 1) 健全度の把握の基本的な方針

専門家により概ね5年に1回の頻度で77橋全橋梁の定期点検を行う。

小竹町職員により1年に1回の頻度で77橋全橋梁の職員点検を行う。

点検履歴および補修履歴をデータベース化して記録する。

町職員を技術者としての育成やベテラン技術者から若手技術者への技術の伝承に努める。

#### 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

職員による日常的なパトロールを行い、新たな損傷箇所や損傷内容を早期に把握する。

橋面排水口の詰まり、舗装の凹凸など簡易な補修が可能な場合は速やかに補修を行う。

### 4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

橋梁長寿命化修繕計画に沿った計画的かつ予防的な修繕計画を行うことにより、ライフサイクルコストを最小化し、事業費を縮小する。

健全度や橋梁の重要度を考慮して、対策優先順位を設定し、コストの平準化を行う。

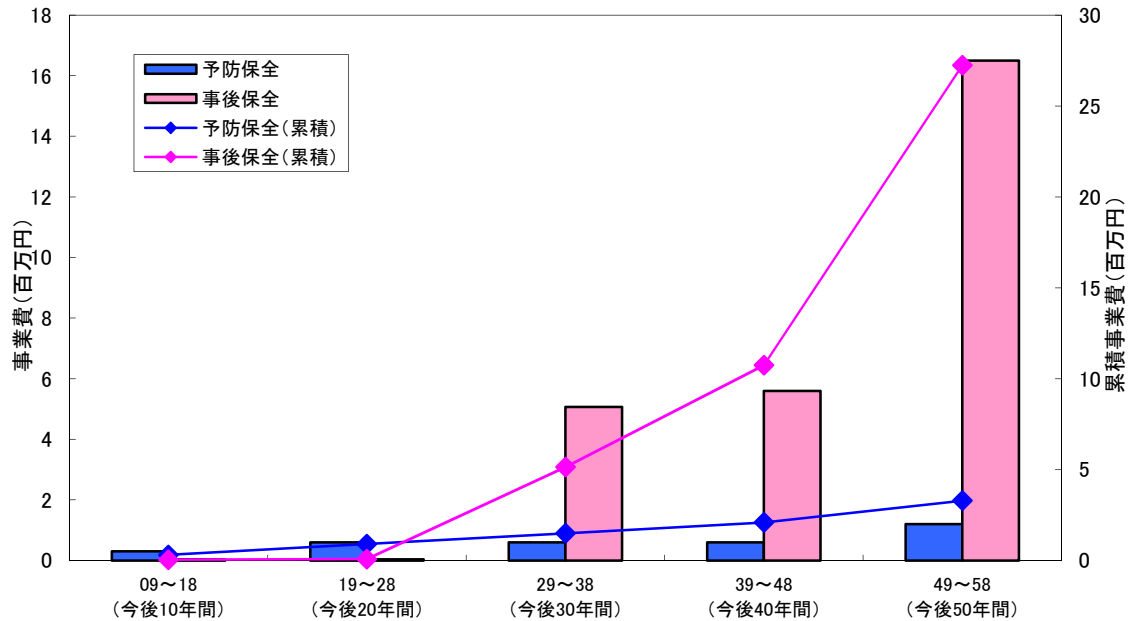
### 5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式1-2による

## 6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する77橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型が27億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が4億円となり、コスト削減効果は23億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



### 事後保全

## 7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

### 1) 計画策定担当部署

小竹町役場 建設課 tel : 09496-2-1900

### 2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

九州工業大学 工学部 建設社会工学科 幸左 賢二 教授 tel : 093-884-3123